



大分県議会議員 2026年冬号
県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

原田たかし会報



教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、
高齢者の方々が「長生きしてよかった」と
思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市莊園町12番18号 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

別府市では住所表示の変更が進められており、事務所の場所はそのままですが、莊園町12番18号へと表示が変わりました。

佐藤樹一郎知事

「生活者・事業者の負担軽減と地域経済の下支えを速やかに!」

～大分県議会2025年第4回定例会行われる～

11月26日(水)から12月12日(金)にかけて大分県議会第4回定例会が開催されました。県森林環境税の適用期間延長に関する条例の一部改正案、中津市にある県立工科短期大学で聴講生制度を創設する条例の一部改正案など20議案が上程されました。

また、12月5日(金)には追加議案として補正額221億7,924万円（累計7,361億646万円）の2025年度一般会計補正予算案など2議案が上程されました。

内容は、市町村によるプレミアム商品券の発行を支援する物価高騰対応プレミアム商品券支援事業（27億2,100万円）などです。

佐藤樹一郎知事は提案理由説明で、冒頭、大分市佐賀関で起きた大規模火災に関わり、亡くなられた方の御冥福と、被害に遭われた方々へ御見舞いの言葉を述べるとともに、この火災が強風による自然災害とする協議が整い、被災者生活再建支援法の適用が決定したことが報告されました。

また、追加議案の提案理由説明では、長引く物価高騰への対策として、「国の重点支援地方交付金を活用し、生活者・事業者の物価高騰に対する負担軽減と地域経済の下支えを図るため、速やかに実施できる施策を盛り込んだ。」と述べています。

議会最終日に全て可決されました。

皆様方にとって2025年はどんな年でしたが、そして2026年は…

新しい年2026が始まりました。皆様方にとって良き年となりますように御祈念いたします。



さて、皆様方にとって2025年はどのような年でしたでしょうか。

春には大阪・関西万博が開催されました。各国のパビリオン建設が遅れるなど開催に向けて心配する声も聞こえましたが、多くの観客が集いました。

景気・経済面では円安を背景に回復基調が維持されているものの、一方でトランプ関税などの不安定要素が漂い、先行きが見通せません。

昨年7月には参議院議員選挙が行われ、10月には憲政史上初となる女性総理の誕生で高市内閣が発足しました。

今回の国の補正予算では歳入の6割超となる11兆6千億円もの国債が発行されています。これから2026年度の当初予算案が審議されますが、これまで以上の国債が発行されるのではないかと思います。

物価高が長引いていることから、物価高騰対策を経済対策として補正予算に組み入れることは正当化されるとしても、多額の赤字国債の発行はいつまでも続けられる手法ではないと考えます。

折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。
背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。

